

令和二年度 京都府公立高等学校入学者選抜
前期選抜学力検査

共通学力検査

国語

解答上の注意

- 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 問題は、この冊子の中の1～6ページにあります。
- 答案用紙には、受付番号を記入しなさい。氏名を書いてはいけません。
- 答案用紙の答の欄に答えを記入しなさい。採点欄に記入してはいけません。
- 答えを記入するときは、それぞれの問題に示してある【答の番号】と、答案用紙の【答の番号】とが一致するように注意しなさい。
- 答えを記号で選ぶときは、答案用紙の答の欄の当てはまる記号を○で囲みなさい。答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。
- 答えを記述するときは、丁寧に書きなさい。
- 字数制限がある場合は、句読点や符号なども一字に数えなさい。
- 答えの書き方について、次の解答例を見て間違いのないようにしなさい。

解答例

一 木曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で書け。……………答の番号【1】

二 次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 北と反対の方角として最も適当なものを、次の(ア)～(ウ)から一つ選べ。

……………答の番号【2】
(ア) 東 (イ) 西 (ウ) 南

(2) 奇数を、次の(ア)～(オ)からすべて選べ。……………答の番号【3】

(ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3
(エ) 4 (オ) 5

二		一	問題番号	答の番号	答の欄	採点欄
(2)	(1)					
【3】	【2】	【1】				
ア イ ウ エ オ	ア イ ウ	金 曜日				
【3】	【2】	【1】				

共通学力検査					
国語					
受付番号					
1	2	3	4	5	6
得点			点		

この部分は著作権の問題により掲載しておりません

— 次の文章は、松田雄馬「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」の一節である。これを読み、問い(1)～(7)に答えよ。(17点)

この部分は著作権の問題により掲載しておりません

(1) 本文中の「^a厳」という漢字を、「^a厳か」と表記して訓で読むとする。このときの「^a厳か」の漢字の部分の読みを平仮名で書け。……………【1】

(2) 本文中の「^b自分自身で見つけ出していかなければなりません」という文脈の中で「生物」が「世界」を捉えることに関してどのようなことが述べられているか。最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。……………【2】

(ア) 誕生直後の「生物」にとって「世界」は常に変化する空間だが、成長するにつれ周囲の状況を知り、固定的なものとして把握するということ。

(イ) 「生物」は誕生直後、記述された論理とは異なる性質のものの方が把握しやすく、「世界」を確たるものとして次々と理解するということ。

(ウ) 「生物」は、常に移り変わる周囲の環境からの働きかけを契機として頼りにできるものを見つける中で、「世界」を捉えていくということ。

(エ) 「生物」にとって「世界」は、さまざまに変化する空間であるため、「生物」はその把握のため模索を続けるということ。

(3) 本文中の「不^c確定」は、「確定でない」ということを、漢字三字の熟語で言い換えたものである。次の(ア)〜(オ)を、それぞれ波線部(~~~~)を用いて漢字三字の熟語に言い換えるとき、「不」で始まる熟語に言い換えられるものとして適当なものをすべて選べ。……………【答の番号】3

- (ア) 養生^hしない (イ) 際限^hがない (ウ) 均衡^hがとれていない
(エ) 公認^hではない (オ) 造作^hがない

(4) 本文中の「な^dがら」について述べた文として最も適当なものを、次のI群(ア)〜(エ)から一つ選べ。また、「な^dがら」と異なる品詞が波線部(~~~~)に用いられているものはどれか、後のII群(カ)〜(ケ)から一つ選べ。……………【答の番号】4

- I群 (ア) 「ながら」は活用のある付属語であるので、助詞である。
(イ) 「ながら」は活用のある付属語であるので、助動詞である。
(ウ) 「ながら」は活用のない付属語であるので、助詞である。
(エ) 「ながら」は活用のない付属語であるので、助動詞である。

- II群 (カ) 集合場所は学校だ。(キ) 決して諦めるな。
(ク) 一口で食べた。すっぱいのに。(ケ) 一人二個ずつ渡す。

(5) 本文中の「私^eたちが「椅子を認識する」際に、何が起きているのか」について、本文ではどのようなことが起こっていると述べられているか。最も適当なもの、次の(ア)〜(エ)から一つ選べ。……………【答の番号】5

- (ア) 「物語」に合った、椅子の客観的な定義づけを行うこと。
(イ) 目に止まった椅子の物体としての特徴を、正しく捉えること。
(ウ) 椅子が果たしている役割を、椅子を利用する中で感じ取ること。
(エ) そのときの状況に応じた、椅子の使い方を思いつくこと。

(6) 本文中の「生^fきる」の活用の種類を、次のI群(ア)〜(ウ)から一つ選べ。また、「生^fきる」と同じ活用の種類である動詞を、後のII群(カ)〜(サ)から二つ選べ。……………【答の番号】6

- I群 (ア) 五段活用 (イ) 上一段活用 (ウ) 下一段活用
II群 (カ) 接する (キ) 懲りる (ク) 塞がる
(ケ) 生かす (コ) 老いる (サ) 携える

(7) 次の会話文は、佳奈さんと秋文さんが本文を学習した後、本文について話し合ったものの一部である。これを読み、後の問い①〜③に答えよ。

佳奈 岩は椅子ではないけれど、どうして岩を用いた例を出したのかな。
秋文 人は、自己と対象をその結びつき方によって認識しているんだよ。これを、岩の例に当てはめて考えると、Aとして認識されている、ということになると本文からは読み取れるよ。この例は、人間が行っている認識の仕方を浮き彫りにするためのものなんだよ。
佳奈 なるほどね。要するに三つ目の段落までの内容も踏まえて言うところ、現状の人工知能と違って私たち生物は、Bという認識の仕方をすることによって、人生という「物語」を創造し「自らの人生を生きる」ということを可能にしているということだね。
秋文 そうだね。このような形で認識し、人生を創造するには、どのような条件が必要だと読み取れるかな。
佳奈 Bという認識の仕方をするには、認識を行う者がCと、という二つの条件が必要だと本文から読み取れるよ。
秋文 そうだね。「強い人工知能」とは、「一服する」等の行動目的を持ち、岩であっても椅子と同じ認識の仕方ができる人工知能のことなんだね。

- ① 会話文中のAに入る最も適当な表現を、本文中から二十六字でそのまま抜き出し、最初の三字を書け。……………【答の番号】7
- ② 会話文中のBに入る表現として最も適当なものを、次の(ア)〜(エ)から一つ選べ。……………【答の番号】8
- (ア) 周囲の環境の認識を自分以外の生物を頼りに行う
(イ) 周囲の環境の認識と「自己」の認識を、相対的に行う
(ウ) 周囲の環境、自分以外の生物という順番で周囲を把握する
(エ) 周囲の環境を認識できなくても、「自己」を発見する
- ③ 会話文中のCに入る適当な表現を、本文の内容を踏まえ、「身体」と「環境」の二語を用いて、十五字以上、二十五字以内で書け。……………【答の番号】9

下書き用

25									
15									

この部分は著作権の問題により掲載しておりません

二 次の文章は、今道友信^{いまちゆうのぶ}「美について」の一節で、「意識の態度」について述べられたものである。これを読み、問い(1)～(8)に答えよ。(21点)

(1)～(5)は、各段落の番号を示したものである。

【<u>〇〇〇〇〇〇</u>】

この部分は著作権の問題により掲載しておりません

注

- *水煙：五重塔の上部にある装飾。
- *対象論：哲学者マイノングの提唱した立場。
- *如何：どのようなものであるか。
- *術語：専門用語。
- *相次いで継起する：物事が引き続いて起こる。
- *連関：関連。
- *体系：個々のものを筋道立てて秩序づけ統一した全体のこと。
- *螺旋：巻き貝の殻のようにぐるぐると回った筋のこと。
- *傾動：なびき動くこと。
- *人格美：本文より前の部分で、人格美について述べられている箇所がある。

(1) 本文中の **五重塔** のような建築を味わう について、本文では建築の味わい方に関してどのように述べられているか。その説明として **適当でないもの** を次の (ア)～(エ) から一つ選べ。…………… **答の番号【10】**

- (ア) 風景の一部となっていて建築を鑑賞しているように見える場合でも、自然美以外の美として鑑賞していることもあるということ。
- (イ) 建築を鑑賞して詩を創作するとき、詩として完成されなかった場合でも芸術的な見方で鑑賞していることが想定されるということ。
- (ウ) 建築は、場所や見るひと自身の持つ思想に関わらず、広く受け入れられる美として鑑賞されるものであるということ。
- (エ) 同じ建築を鑑賞するときでも、それを見るひとがそれぞれの場面において異なった美として鑑賞するということ。

(2) 本文中の **半ば** の漢字の部分の読みを平仮名で書け。…………… **答の番号【11】**

(3) 本文中の **A** に入る最も適当な表現を、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。…………… **答の番号【12】**

- (ア) 意識構造の中ではなく、芸術的建築自体に含まれている
- (イ) 事物の局面においては存在せず、意識の位相にほかならない
- (ウ) 建造物の表層では観察されず、芸術の深層に存在する
- (エ) 意識的に見る対象ではなく、無意識的に見る対象でしかない

(4) 本文中の **B** に入る語として最も適当なものを、下段の I 群 (ア)～(エ) から一つ選べ。また、本文中の **B** に入る語は、**B** の前に述べられていることと、後に述べられていることとの間で、どのような働きをしているか。最も適当なものを、下段の II 群 (カ)～(ケ) から一つ選べ。…………… **答の番号【13】**

- I 群
- (ア) なぜならば
 - (イ) また
 - (ウ) では
 - (エ) しかし

- II 群
- (カ) 後に述べられていることが、前に述べられていることとは違う話題であることを表す働き。
 - (キ) 後に述べられていることと、前に述べられていることが並列であることを表す働き。
 - (ク) 後に述べられていることが、前に述べられていることの説明や補足であることを表す働き。
 - (ケ) 後に述べられていることが、前に述べられていることとは逆の話題であることを表す働き。

(5) 本文中の **いわば機械の流れ** のように、同じ表現技法が用いられている例として最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。…………… **答の番号【14】**

- (ア) 約束の時間に遅れないように余裕を持って出かけた。
- (イ) この本はきつとあなたの人生の教科書となるだろう。
- (ウ) 「映画が見れる」の「見れる」はいわゆるら抜き言葉である。
- (エ) 目の前には小説の世界のような景色が広がっていた。

(6) 本文中の **ハイ景** の片仮名の部分を漢字に直し、楷書で書け。…………… **答の番号【15】**

(7) 本文の段落構成を説明した文として最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。…………… **答の番号【16】**

- (ア) 2 段落では、1 段落で問題提起したことをより身近な例で示し、主張を時系列にそって述べている。
- (イ) 3 段落では、2 段落で例示した事象がもたらす結果を示すことで、1 段落の内容をまとめている。
- (ウ) 4 段落では、3 段落の内容を異なる表現に言い換えることで筆者の主張を整理し、5 段落へつなげている。
- (エ) 5 段落では、4 段落までに述べた内容をまとめた上で、別の対象をあげることによって新たな論を展開させている。

(8) 春斗さんと由衣さんのクラスでは本文を学習した後、本文の内容に関して調べ、授業で発表することになった。次の会話文は、春斗さんと由衣さんが発表に向けて話し合ったものの一節である。これを読み、後の問い①～③に答えよ。

春斗 本文では、日常の意識構造と美の成立する意識構造について述べていたね。

由衣 4段落の「立ち止るといことは、日常的意識の水平的な流れが中断されることの特徴でさえある」とは、どういうことだったかな。

春斗 本文からは「X」ということだと読み取れるね。そうすると、筆者が言う、ひとが美を意識するときの意識構造とは、どのようなものだったかな。

由衣 本文から、ひとは、日頃の生活の中では断片的事象を「Y」しているが、断片的事象を「Z」するとき、いつもなら見逃していた輝きに気づくという意識構造だと読み取れるよ。

春斗 だから、筆者は日常の意識構造を用いて、自然美の成立する意識構造について、わかりやすく述べようとしていたんだね。

由衣 そうだね。1段落の内容を踏まえて考えると、美を見ているときにも同様のことが起きているということじゃないかな。たとえば、機能の美を味わっている最中に芸術の美に気づいたときとかね。本文の内容に関して、さらに図書室で情報を集めて、わかりやすい発表をしよう。

① 会話文中の「X」に入る最も適切な表現を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

(ア) 普段の行動において、水平方向に視線や意識を張り巡らせているときに、垂直的な構図をもつ美によって意識が中断されることは、「立ち止るときの意識と類似性がある行動である」

(イ) 日常の通勤の動作のように、無意識的な動作をつなぐ意識が、美的体験によって切断され生じた意識と重なりあうという抽象的なことを、「立ち止る」という具体的なことで間接的に表現している

(ウ) 家から勤め先までの平らな道を歩くような水平方向の動作をするとき、その一連の動作を、地上から空の方を見上げるような垂直方向の動作で断ち切ることが、「立ち止る」ことにたとえられる

(エ) 日常の物事を行う意識の動きを水平とし、それを打ち破るものへの意識の動きを垂直とするとき、「立ち止る」ことは水平的な意識の動きを垂直的に破ることを連想させる具体的な事象として適している

答の番号【17】

② 会話文中の「Y」・「Z」に入る適切な表現を、本文の内容を踏まえて、それぞれ十三字以上、十五字以内で書け。……………答の番号【18】

下書き用

Z	Y
……………しているが、断片的事象を……………	
13	13
15	15

③ 情報を集めて、わかりやすい発表をする際の注意点として適当でないものを次の(ア)～(エ)から一つ選べ。……………答の番号【19】

(ア) 発表の目的をはっきりさせ、それに応じて調べた情報を取捨選択し、整理する。

(イ) どの情報についても均等に時間を配分するために、発表全体を見通した構成を考える。

(ウ) 情報を調べるときは、信頼性の確認ができた複数の情報源に当たり、さまざまな観点で比較する。

(エ) 発表者の考えであることを示す表現と、調べた情報であることを示す表現を発表の中に加えることで、それぞれを区別する。

三

次の文章は、「十訓抄」の一節である。長年、公の場に出ていなかった師頼卿（源 師頼）が、孔子を祭る儀式を執り行うこととなった。本文はこれに続く場面である。注を参考にして本文を読み、問い(1)～(5)に答えよ。(12点)

作法進退のあひだ、ことにおいて不審をなして、あらあら人に問ひけり。その時、成通卿、参議にて列座していはく、「年ごろ、御籠居のあひだ、公事、御忘却か。うひうひしく思しめさるる条、もつとも道理なり」といふ。師頼卿、返事をいはず、顧眄して、ひとりこちていはく、
入大廟毎事問云々 大廟に入りて事毎に問ふ云々

論語

成通卿閉口す。後日に人に語りていはく、「思ひ分くかたなく、不慮の言を出し、後悔千廻云々」。

このころは、孔子、大廟に入りて、まつりことにしたがふ時、毎事、かの令長に問はずといふことなし。人これを見て、「孔子、礼を知らず」と難じければ、「問ふは礼なり」とぞ答へ給ひける。

かの人の御身には、さぞくやくおぼえ給ひけむか。「これ、慎みの至れるなり」といへり。

〔新編日本古典文学全集〕による

注

- *作法進退：儀式を執り行うこと。
- *ことにおいて：師頼はその都度礼法や所作について。 *あらあら：おおかた。
- *成通卿：藤原成通。 *参議：国政を審議する職。 *年ごろ：長年。
- *籠居：家に閉じこもること。 *公事：朝廷の儀式や政務。 *条：こと。
- *顧眄：振り返ってちらっと見ること。 *大廟：君主の祖先を祭った建物。
- *云々：一言では言い切れない言葉を中断し後を省略するとき用いる語。
- *千廻：程度や度合いがはなはだしいさま。 *まつりごと：儀礼。
- *令長：儀礼を取り仕切る人。 *難じければ：非難したところ。
- *くやくおぼえ：悔やまれ。

(1) 本文中の波線部(~~~~)で示されたものうち、現代仮名遣いで書いた場合とは異なる書き表し方を含んでいるものはどれか、次の(ア)～(オ)からすべて選べ。

- (ア) うひうひしく
- (イ) ひとりこちて
- (ウ) このころは
- (エ) したがふ時
- (オ) 礼を知らず

答の番号 [20]

(2) 本文中の 大廟に入りて事毎に問ふ は、漢文では、本文中の 入大廟毎事問 のように記す。これに返り点と送り仮名をつけたものとして最も適当なものを、下段の(ア)～(エ)から一つ選べ。

答の番号 [21]

(ア) 入^{リテ}大廟^ニ毎^レ事^ヲ問^フ (イ) 入^レ大廟^ニ毎^ニ事^ヲ問^フ
(ウ) 入^{リテ}大廟^ニ毎^ニ事^ヲ問^フ (エ) 入^{リテ}大廟^ニ毎^ニ事^ヲ問^フ

(3) 本文中の 不慮の言 とは、どのようなことを指しているのか、最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。 答の番号 [22]

(ア) 師頼に仕事を教えた成通が、初心者配慮なく叱責した際の発言。
(イ) 成通が儀式への関わり方について述べた、他人任せな発言。
(ウ) 考えに食い違いがあった成通と師頼が後に和解した際の、成通の発言。
(エ) 師頼の考えを知らない成通が口走った、軽はずみな発言。

(4) 本文中の 答へ給ひける の主語である人物として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。 答の番号 [23]

(ア) 孔子 (イ) 成通卿 (ウ) 師頼卿 (エ) 令長

(5) 次の会話文は、大助さんと純子さんが本文を学習した後、本文について話し合ったもの一部である。これを読み、後の問い①～③に答えよ。

大助 「あらあら人に問ひけり」と書かれていたけれど、なぜ師頼は、このような行動をとったのだったかな。

純子 師頼の発言から考えると、孔子が儀礼に携わったとき、すべてを人に [A] のを、師頼は [B] とした、ということがわかるよ。この師頼の行動は、今回の儀式の趣旨に合ったものだったんだね。なるほど。それで成通は師頼のことをどう思ったのだったかな。

大助 最終段落の成通の発言もあわせて考えると、成通は師頼について、 [C] である、と感じたことが本文から読み取れるよ。

純子 そうだったね。成通は師頼の言葉から、彼の意図や人柄を察し、閉口したんだったね。

① 会話文中の [A]・[B] に入る適当な表現を、本文の内容を踏まえて、 [A] は四字以内で、 [B] は二字以内で書け。 答の番号 [24]

下書き用 A [] B []

② 会話文中の [C] に入る最も適当な表現を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。 答の番号 [25]

- (ア) 悔しさを原動力にして努力を怠らない向上心の高い人物
- (イ) 思慮深く謙虚であることにおいて比類のない人物
- (ウ) 失敗を指摘されたときにすぐに反省できる素直な人物
- (エ) 儀式における具体的な所作に自分の意見を持つ知的な人物

【国語おわり】

共通学力検査 国語 正答表

三						二										一										問題番号			
(5)		(4)	(3)	(2)	(1)	(8)			(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(7)			(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	番号の 答の				
㊦	㊧					㊦	㊧	㊨								㊦	㊧	㊨											
【25】	【24】	【23】	【22】	【21】	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】					
イ	㊦ 例 A 尋ねた 4	㊦			㊦	イ	例 Z 行動目的に しているが、断片的事象を 関係なく統一 Y 一連の統一 的行動に入れて 意識 13 意識 15																				おごそか	欄	
	㊦ 例 B 手本 2			ウ	㊦				ウ								イ		岩と人										
					完全解答							完全解答								完全解答		完全解答	完全解答						
2	2	2	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1		配点			